

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
融合領域分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月26日（金）15:30～17:00
会場 日本学術会議 6-C（1）会議室
出席者 浅間委員、石川委員、亀田委員、佐藤委員、澁澤委員、高橋委員、
波多野委員、町村委員、片岡委員
事務局 犬塚参事官、高谷審議専門職

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
- 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
- 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
- 資料4 評価小分科会及び委員の役割
- 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
- 資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
- 資料7 融合領域分野の応募提案一覧【非公開資料】

- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

1) 役員の選任について

互選により、委員長として石川冬木委員が、副委員長として浅間 一委員が、幹事として松原 宏委員及び澁澤 栄委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。

なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、委員間でメールアドレスを共有すること、また、持ち回り審議等の委員および事務局間のメール連絡については原則としてBCCを用いないことが承認された。

2) 利益相反についての考え方の確認

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある亀田達也委員より、資料2にもとづき、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある亀田達也委員より、資料3にもとづき、本小分科会における審議事項について説明があった。

4) 区分Iに属する提案の評価方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、小分科会としての評価に関わる審議は、以下のように行うことを決定した。

- ①それぞれの提案について各委員が評価を行う。
- ②委員長は各委員の評価結果をもとに小分科会としての評価案を作成し、これを持ち回り審議による第2回小分科会において審議し、最終案を決定する。必要に応じて、第2回小分科会はメール審議ではなく会合を開催して実施する。
- ③項目評価 i ~ vi (資料3) を用いて総合評価を判定する際の項目間の軽重は、小分科会として一律に決定するのではなく、各委員の見識に基づいて適宜提案ごとに変更可能である。

5) 今後のスケジュール

資料4にもとづいて、事務局より今後のスケジュールの確認が行われた。

※次回会議の日程および開催形式は審議状況に応じて決定する。

文責 澁澤 栄